

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	台東区清川 2-22-16
園名	台東区立玉姫保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

栽培活動と飼育活動

<テーマの設定理由>

・自園を取り巻く自然環境を活かして、身の回りの自然物への興味や関心が更に広がったり深まったりするようになるため

2. 活動スケジュール

- ・通年春、秋に栽培物を植えて、生長を見守ったり、お世話する活動をする。
- ・5月から10月計4回プロナチュラリスト佐々木洋先生と一緒に子供たちと園庭や公園での探索を行い、気づきや発見を楽しむ。疑問や感じた事を一緒に考えてもらいながら、自然物への興味関心を深めていく。
- ・ここから得たヒントをもとに、プランターや花壇に仕掛けを作り、更なる興味や関心を引き出していく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

場所：ホール・園庭・清川公園・東白髭公園

準備品：ホワイトボード・子どもの質問用ホワイトボード・記録用ビデオカメラ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・年間を通じて、野菜や花の栽培を行い、生き物の成長や変化に気付いたり発見しながら身近な自然に親しむ。
- ・年齢ごとに園庭で佐々木隊長と一緒に自然探索を行い、地面の生き物を見つけたり空を飛ぶ鳥に気付いたりする。15～20分ずつ、身近な生き物の話を聞く最後に振り返りながら生き物クイズを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・知っている生き物が話題に上がると喜んで発言したり新しい情報に驚いていた。今年は東白髭公園でも自然探索を行ったので、園庭では見ることのできない植物や虫、大きな木のはがれる様子も見ることができて子供たちは大変興味を示した様子であった。その様子を家庭に帰ってから伝えており会話が膨らんだようである。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・どの年齢もよく話を聞いていた。興味や関心があって疑問や質問も出ていた。
- ・幼児クラスだけでなく乳児クラスも関心を示していた。
- ・知識だけではなく、実際に触れたり、見たり探したりする経験を増やす事で興味や関心が更に広がる。
- ・プランターを活かし草花、雑草の場所を作る事で人が手を付けない土にどんな変化が起きるか試したり、蝶々だけが生育できる場所を作るなど今後工夫が出来る事を知った。
- ・これらの経験で早速図鑑で鳥を調べて保育士に知らせたり、子ども同士で教え合ったりする姿が見られた。
- ・身近な環境こそが園児の育ちや成長に大きく関わると感じた。
- ・触り方や関わり方を考える中で命を大切にしようとする気持ちの芽生え。
- ・発見を伝えあう中で生まれることばのやりとりが広がった。